NEWアダージオSTB

変額個人年金保険Ⅱ型2003

＜20年運用コースA＞

特別勘定の月次運用レポート
2024年3月末現在

〇市場概況
〇特別勘定の運用状況
〇組入投資信託の運用レポート

変額個人年金保険のリスクと手数料について

●変額個人年金保険は一時払保険料をファンドで運用します。ファンドの主要投資対象である投資信託は、国内外の株式・債券等で運用しており、運用実績が保険金額や資産残高・将来の年金額等の増減につながるため、株価や債券価格の下落、為替の変動により、資産残高、解約払戻金額は払込保険料を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。

●変額個人年金保険は預金等ではなく、預金保険制度ならびに投資者保護基金の対象ではありません。
●解約、一部解約（特別引出を除く）をした場合や年金受取開始日以降に年金を一括受取する場合等には、一時払保険料相当額の最低保証はありませんので、受取総額が一時払保険料相当額を下回ること（元本割れリスク）があります。
●保険関係費用：ご契約の新規成立・維持等や死亡・災害死亡の保障等をするための費用です。運用期間中、資産残高に対して年率2.37％の割合で資産残高から毎日控除されます。
●運用関係費用：ファンドの運用にかかる費用です。主にファンドが投資する投資信託の信託報酬で、信託財産に対して最大で年率1.463％（税抜年率1.33％）程度の割合で信託財産から毎日控除されます。運用手法の変更等の理由により将来変更される可能性があります。
●年金管理費：年金支払の管理にかかる費用です。年金の受取期間中、年金額に対して1％の割合で責任準備金から年金受取時に控除されます。
●解約控除：ご契約日および増額日からその日を含めて7年未満の解約、一部解約（特別引出を除く）をした場合にかかります。ご契約日からの経過年数に応じて、解約控除対象額※の7％～1％の割合で解約日の資産残高または一部解約請求額から控除されます。
※解約控除対象額は、解約の場合は一時払保険料相当額、一部解約の場合は一部解約請求額と一時払保険料相当額のうちいずれか小さい方の金額となります。なお、過去に一部解約があった場合はその際の解約控除対象額が一時払保険料相当額から差し引かれます。

＊この商品にかかる費用の合計額は、「運用期間中の費用（「保険関係費用」「運用関係費用」）」と「年金受取期間中の費用（「年金管理費」）」の合計額となります。また、特定のお客さまには「解約控除」がかかります。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

［引受保険会社］ オリックス生命保険株式会社

本商品につきましては、新規のご契約のお取り扱いを行っておりません。
ただし、既に本商品をご契約されているお客様につきましては、ご契約後の各種手続のお取り扱いを行っております。

（管）ORI-033

市　　場　　概　　況

	代表的な指標の騰落率	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
日本株式	日経平均株価	3.07%	20.63%	26.72%	43.96%	38.35%
	TOPIX（東証株価指数）	3.47%	17.00%	19.16%	38.19%	41.69%
日本債券	NOMURA－BPI総合	▲ 0.11%	▲ 0.51%	0.37%	▲ 2.20%	▲ 4.98%
外国株式	MSCIコクサイ指数（除く日本、円換算ベース）	4.00%	15.34%	22.00%	41.25%	69.73%
外国債券	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）	1.20%	5.04%	8.29%	15.80%	17.31%
外国為替	米ドル対円為替レート（仲値）	0.49%	6.75%	1.22%	13.39%	36.76%

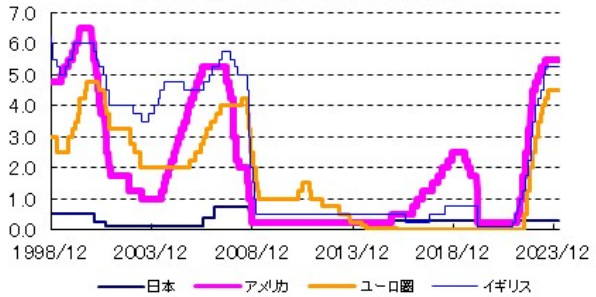
日経平均株価(円)の推移

日本と外国の株式市場パフォーマンス推移

＊上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

日本の国債利回り(%)の推移

先進各国の政策金利(%)の推移



日本と外国の債券市場パフォーマンス推移

＊上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

外国為替レート(円)の推移

全てのデータの出所はBloomberg、野村総合研究所です。NOMURA-BPIとは、日本国内債券市場で発行されている代表的な公社債の流通動向を的確に表す投資収益指数です。当指数は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社によって計算、公表されている、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社の知的財産です。なお、同社は、当指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。MSCIコクサイ指数とは、MSCI Inc.が所有する株価指数で、世界の主要先進国の株式市場の動きを捉える基準として、広く認知されているものです。FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

※運用状況については、組入投資信託の運用レポートをご覧ください。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

特別勘定（ファンド）グループ

特別勘定と主な投資対象の投資信託

特別勘定	運用資産				主な投資対象の投資信託	運用会社	資産配分（%）		資産合計（百万円）
	株式		債券				投資信託	現預金その他	
	日本	外国	日本	外国					
日本株式グロースファンド ST	●				ジャパン・グロース・ファンドVA1（愛称：得意技VA1）＊	三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社	97.4%	2.6%	17
日本株式グロースファンド FIE	●				フィデリティ・日本成長株・ファンドVA5＊	フィデリティ投信株式会社	97.3%	2.7%	2,487
日本株式バリューファンド ST	●				キャッシュフロー経営評価オープンVA1（愛称：選球眼VA1）＊	三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社	99.0%	1.0%	30
日本株式インデックスファンド ST	●				日本株式インデックス・オープンVA1＊	三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社	96.0%	4.0%	393
世界株式ファンド FIE	●	●			フィデリティ・グローバル・ファンドVA5＊	フィデリティ投信株式会社	97.8%	2.2%	261
外国株式インデックスファンド ST		●			外国株式インデックス・オープンVA1＊	三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社	95.7%	4.3%	132
外国債券インデックスファンド ST				●	外国債券インデックス・オープンVA1＊	三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社	96.3%	3.7%	46
マネーファンド MB			●		三菱UFJ MRF（マネー・リザーブ・ファンド）	三菱UFJアセットマネジメント株式会社	97.0%	3.0%	208

＊適格機関投資家専用に設定される投資信託です。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

特別勘定（ファンド）グループ

投資信託の運用方針

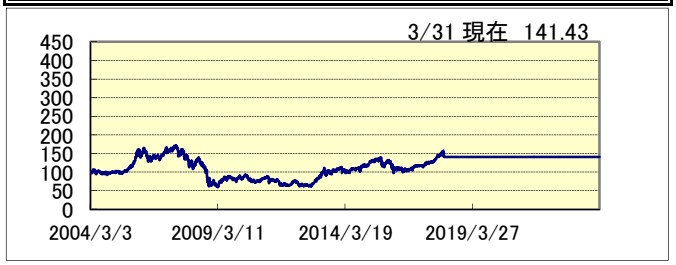
主な投資対象の投資信託	運用方針
ジャパン・グロース・ファンドVA1（愛称：得意技VA1）＊	主に日本の上場株式に投資し、独自の調査に基づき企業の成長性を重視し銘柄を選定することによって、TOPIX（東証株価指数）（配当込み）を長期的に上回る運用成果の獲得を目指します。
フィデリティ・日本成長株・ファンドVA5＊	成長企業の株式に投資することにより、TOPIX（東証株価指数）を上回る投資成果を目指します。市場平均等に比較し成長力があり、その持続が長期的に可能と判断される成長企業を独自の個別企業分析により選定し投資を行います。
キャッシュフロー経営評価オープンVA1（愛称：選球眼VA1）＊	主に日本の上場株式に投資し、企業本来の投資価値に比べ現在の株価が割安と判断される銘柄を選定することによって、TOPIX（東証株価指数）（配当込み）を長期的に上回る運用成果の獲得を目指します。
日本株式インデックス・オープンVA1＊	主に日本の上場株式に投資し、システム化された運用手法をとるなど、長期的な投資効率を向上させ、TOPIX（東証株価指数）（配当込み）に連動する投資成果の獲得を目指します。
フィデリティ・グローバル・ファンドVA5＊	市場平均等に比較し成長力があり、その持続が長期的に可能と判断される成長企業に投資し、世界株式市場の代表的指数であるMSCIワールド（円ベース）を中長期的に上回る投資成果の獲得を目指します。
外国株式インデックス・オープンVA1＊	主に先進各国の上場株式に投資し、システム化された運用手法で、世界株式市場の代表的指数であるMSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果の獲得を目指します。
外国債券インデックス・オープンVA1＊	主に先進各国の公社債に投資し、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）に連動する投資成果の獲得を目指します。
三菱UFJ MRF（マネー・リザーブ・ファンド）	内外の公社債およびコマーシャル・ペーパーを中心に投資し、安定した収益の確保を目指します。投資対象とする有価証券は信用度が高く、残存期間が短いものとします。外貨建資産への投資については、円貨で約定・決済するもの（為替リスクの生じないもの）に限ります。

＊適格機関投資家専用に設定される投資信託です。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

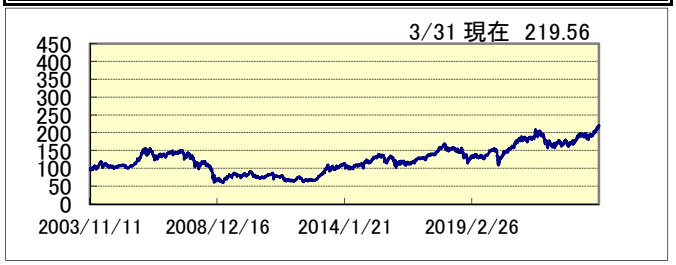
特別勘定 ユニットプライスと収益率の推移

日本株式グロースファンド ST



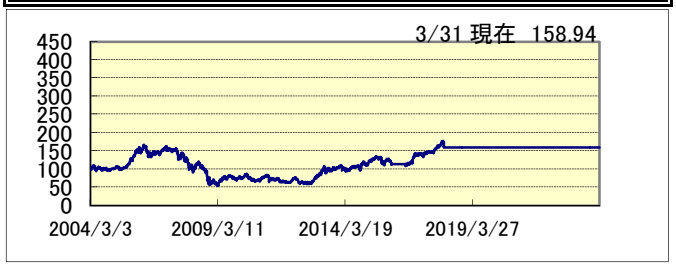
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	41.43%

日本株式グロースファンド FIE



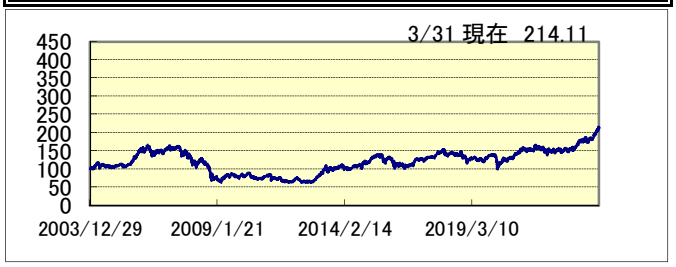
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	3.61%	13.17%	15.02%	24.33%	18.68%	119.56%

日本株式バリューファンド ST



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	58.94%

日本株式インデックスファンド ST



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	4.10%	16.71%	18.06%	35.74%	37.39%	114.11%

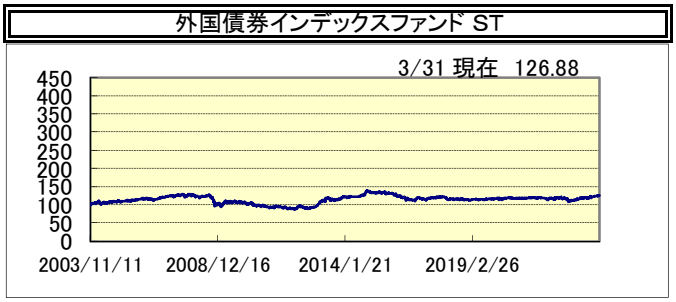
世界株式ファンド FIE

期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	2.89%	13.64%	18.80%	35.70%	45.18%	338.34%

外国株式インデックスファンド ST

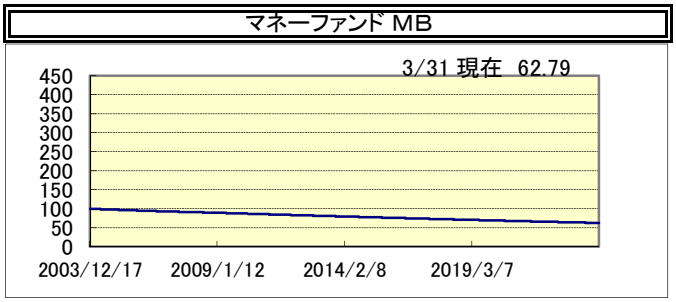
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	3.78%	14.36%	20.11%	37.40%	59.91%	308.28%

外国債券インデックスファンド ST



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	1.01%	3.52%	6.20%	11.08%	6.07%	26.88%

マネーファンド MB



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	−0.19%	−0.59%	−1.17%	−2.34%	−6.86%	−37.21%

※特別勘定のユニットプライスは当初100で設定されております。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

日本株式グロースファンド ST

【特別勘定が投資する投資信託】
ジャパン・グロース・ファンドVA1（適格機関投資家専用）
（愛称：得意技 VA1）
【運用会社】
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

主要投資対象

日本の上場株式。主に「ジャパン・グロース マザーファンド」受益証券を通じて投資が行われます。

運 用 方 針

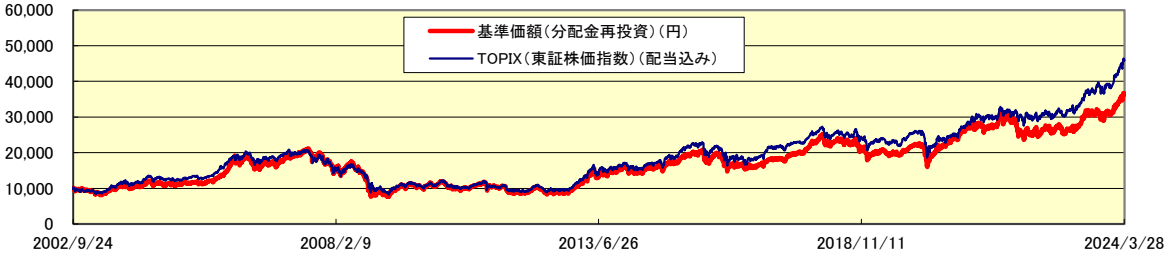
主に日本の上場株式に投資し、短期的な市場動向に左右されず、独自の調査にもとづいたファンダメンタル重視の投資を行うことで、将来の資産価値極大化をめざした中長期的な視点からの運用を行うことを基本とします。

2024年3月29日現在

1．ファンドの運用経過

※ TOPIX（東証株価指数）（配当込み）は当ファンドのベンチマークではありません。

① 基準価額推移グラフ(TOPIX（東証株価指数）（配当込み）は当初設定日を10,000として指数化。データは設定日から基準日までを表示。)



※基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
※お客様本位でわかりやすい情報開示を行うために、2023年6月末基準より、株式を投資対象とするファンドの設定来からのベンチマークおよび参考指数を、ファンドの運用成果により近い「配当込み指数」に統一しました。

② 当月末基準価額

基準価額	36,421 円	既払分配金（税引前）	60 円	純資産総額	17 百万円

※運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

③ 騰落率

（単位：%）

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
当ファンド	3.97	15.98	19.21	33.73	31.72	265.70
TOPIX（東証株価指数）（配当込み）	4.44	18.14	20.55	41.34	52.53	360.87

※騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。

2．月末のポートフォリオの状況

① 資産別構成比　（純資産比率(%)）

マザーファンド	99.95
短期金融資産等	0.05
合計	100.00

【市場別株式組入状況】
（マザーファンド）　（単位：%）

	銘柄数	比率
プライム市場	54	97.40
スタンダード市場	0	0.00
グロース市場	0	0.00
その他の市場	0	0.00
株式合計	54	97.40
短期金融資産等	－	2.60
株式先物取引	－	0.00

比率は純資産比率

② 組入上位10銘柄（マザーファンド）

（単位：%）

	銘柄名	業種	比率
1	東京エレクトロン	電気機器	4.65
2	ソニーグループ	電気機器	3.81
3	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.75
4	日立製作所	電気機器	3.67
5	キーエンス	電気機器	3.40
6	トリケミカル研究所	化学	3.15
7	パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス	小売業	3.10
8	SREホールディングス	不動産業	3.10
9	MARUWA	ガラス・土石製品	2.96
10	三菱商事	卸売業	2.91

比率は純資産比率

③ 組入上位10業種

（マザーファンド）　（単位：%）

	業種	比率
1	電気機器	26.28
2	情報・通信業	11.32
3	化学	9.36
4	機械	8.56
5	銀行業	6.77
6	小売業	5.27
7	サービス業	5.14
8	ガラス・土石製品	5.07
9	卸売業	4.84
10	輸送用機器	4.48

比率は株式資産比率
東証33業種分類

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

日本株式グロースファンド ST

【特別勘定が投資する投資信託】
ジャパン・グロース・ファンドVA1（適格機関投資家専用）
（愛称：得意技 VA1）
【運用会社】
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

主要投資対象

日本の上場株式。主に「ジャパン・グロース マザーファンド」受益証券を通じて投資が行われます。

運 用 方 針

主に日本の上場株式に投資し、短期的な市場動向に左右されず、独自の調査にもとづいたファンダメンタル重視の投資を行うことで、将来の資産価値極大化をめざした中長期的な視点からの運用を行うことを基本とします。

3. ファンドマネージャーのコメント

【投資実績】
脱炭素社会が目指される中、環境関連事業の業績改善が見込まれる日本製鋼所、循環器治療に用いられるPCIガイドワイヤーにて高いシェアを有しており、世界展開を通じて持続的な成長が期待できる朝日インテックなどを購入しました。一方、新作タイトルの開発・販売に苦戦しており、業績改善に時間を要すると判断したコーエーテクモホールディングス、光通信向け部品の需要拡大が期待されるものの、競争環境に対する懸念が高まったエンプラスなどを売却しました。

【市場の見通し】
欧米がこれまで実施した利上げの累積的な効果に伴う景気減速や中国経済の停滞長期化が懸念されるものの、世界的なインフレが落ち着きを見せていることや、米国では景気動向に応じた機動的な金融緩和が期待できること、日本企業の業績動向は堅調に推移していることなどから下値は限定的と考えます。グローバル景気や金融市場の不透明感を背景に短期的には変動幅の高まる局面も予想されますが、底堅い企業業績が見込まれること、増配や自社株買いによる積極的な株主還元策が期待できることなどから、堅調な展開を想定します。このような環境下、当ファンドでは、外部要因に左右されることなく独自の成長シナリオを描ける銘柄を中心に選別投資を行います。

【今後の運用方針】
割安成長株への投資で中長期的に市場平均を上回るパフォーマンスを目指して、中長期の利益成長とROE（自己資本利益率）に着目して銘柄選択を行います。
業績好調な銘柄でポートフォリオを構築しつつ、株価とファンダメンタルズの乖離にも注意を払います。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
日本株式グロースファンド FIE

【特別勘定が投資する投資信託】
フィデリティ・日本成長株・ファンドVA5（適格機関投資家専用）

【運用会社】
フィデリティ投信株式会社

主要投資対象
日本の上場株式。主にフィデリティ・日本成長株・マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運 用 方 針
成長企業の株式に投資することにより、TOPIX（東証株価指数）を上回る投資成果を目指します。市場平均等に比較し成長力があり、その持続が長期的に可能と判断される成長企業を独自の個別企業分析により選定し投資を行い、信託財産の成長を目指します。

設定来の運用実績　（2024年3月29日現在）

※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。ベンチマークはファンド設定日前日を10,000円として計算しています。※基準価額は運用管理費用控除後のものです。※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

累積リターン　（2024年3月29日現在）

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	3.91%	14.19%	16.84%	28.02%	28.03%	350.35%
ベンチマーク	4.44%	18.14%	20.55%	41.34%	52.53%	347.62%

※ 累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。
※ ベンチマーク：TOPIX（配当込）
＊TOPIX（配当込）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されており、配当を考慮したものです。
＊東証株価指数（TOPIX）（以下「TOPIX」という。）の指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。

過去5期分の収益分配金（1万口当たり／税込）

第 18期(2019.12.02)	----------	0円
第 19期(2020.11.30)	----------	0円
第 20期(2021.11.30)	----------	0円
第 21期(2022.11.30)	----------	0円
第 22期(2023.11.30)	----------	0円

純資産総額	24.2 億円	（2024年3月29日現在）

コメント　（2024年3月29日現在）

当月の東京株式市場は、日銀のマイナス金利政策が解除されてデフレ脱却期待が高まり、日経平均株価は史上最高値を更新しました。
前月からの上昇の勢いを受け継ぎ、日経平均株価は月初に史上初となる4万円の大台に到達しました。その後は米半導体株の下落や、日銀の政策変更を睨んで円高が進んだことなどがマイナス要因となって反落を強いられましたが、春闘で昨年よりも高い賃上げ率が確認されてデフレ脱却期待が高まると、市場で日銀の政策転換の織り込みが進み、株価は力強く上昇しました。日銀はマイナス金利や長短金利操作、上場投資信託買い入れなどの政策の終了を決定した上で、緩和的な金融環境を継続すると強調した一方、米連邦準備制度理事会は年内3回の利下げを行う方針を維持し、日米の金融政策決定会合が大方の事前想定通りに通過したことが株価を一段と押し上げました。日経平均株価は一時41,000円台に乗せるなど、終値で史上最高値を再び更新した後、月末にかけては利益確定売りや3月期決算企業の配当落ちの影響などからやや調整しましたが、そのまま4万円台を維持して月を終えました。月間の騰落率は、TOPIX（配当込）が＋4.44%、日経平均株価は＋3.07%でした。

※上記コメントは、資料作成時点におけるもので将来の市場環境等の変動等を保証するものではありません。

組入上位10銘柄（マザーファンド・ベース）　（2024年2月29日現在）

	銘 柄	業 種	比率
1	三菱UFJﾌｨﾅﾝｼｬﾙ･ｸﾞﾙｰﾌﾟ	銀行業	4.0%
2	ｷｰｴﾝｽ	電気機器	3.9%
3	東京ｴﾚｸﾄﾛﾝ	電気機器	3.8%
4	ｿﾆｰｸﾞﾙｰﾌﾟ	電気機器	3.3%
5	三井住友ﾌｨﾅﾝｼｬﾙｸﾞﾙｰﾌﾟ	銀行業	3.1%
6	日立製作所	電気機器	3.1%
7	伊藤忠商事	卸売業	3.0%
8	信越化学工業	化学	2.9%
9	ﾄﾖﾀ自動車	輸送用機器	2.4%
10	東京海上ﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ	保険業	2.1%

（ 組入銘柄数 ： 178 ）　上位10銘柄合計　31.6%
（対純資産総額比率）

ポートフォリオの状況（マザーファンド・ベース）　（2024年2月29日現在）

資産別組入状況

株式	99.0%
新株予約権証券(ﾜﾗﾝﾄ)	－
投資信託・投資証券	－
現金・その他	1.0%

市場別組入状況

東証プライム	96.4%
東証スタンダード	2.0%
東証グロース	0.5%
その他市場	－

組入上位5業種

電気機器	22.1%
銀行業	8.5%
化学	7.9%
輸送用機器	7.5%
卸売業	6.3%

（対純資産総額比率）

＊各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。
＊業種は東証33業種に準じて表示しています。
＊未払金等の発生により「現金・その他」の数値がマイナスになることがあります。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

日本株式バリューファンド ST

【特別勘定が投資する投資信託】
キャッシュフロー経営評価オープンVA1（適格機関投資家専用）
（愛称：選球眼 VA1）
【運用会社】
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

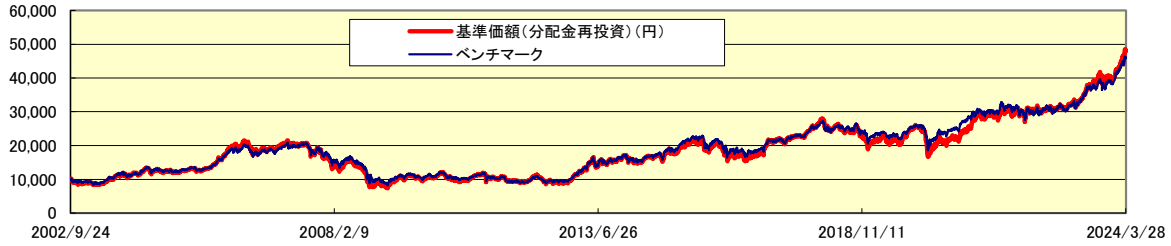
主要投資対象
日本の上場株式。主に「キャッシュフロー経営評価 マザーファンド」受益証券を通じて投資が行われます。

運 用 方 針
主に日本の上場株式に投資し、企業本来の投資価値に比べ現在の株価が割安と判断される銘柄を選定することによって、TOPIX（東証株価指数）（配当込み）を長期的に上回る運用成果の獲得を目指します。

2024年3月29日現在

1．ファンドの運用経過

① 基準価額推移グラフ（ベンチマークは当初設定日を10,000として指数化。データは設定日から基準日までを表示。）



※基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
※ベンチマークはTOPIX（東証株価指数）（配当込み）です。
※お客様本位でわかりやすい情報開示を行うために、2023年6月末基準より、株式を投資対象とするファンドの設定来からのベンチマークおよび参考指数を、ファンドの運用成果により近い「配当込み指数」に統一しました。

② 当月末基準価額

基準価額	48,143 円	既払分配金（税引前）	60 円	純資産総額	31 百万円

※運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

③ 騰落率

（単位：%）

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
当ファンド	6.64	21.41	19.97	47.27	65.48	383.29
ベンチマーク	4.44	18.14	20.55	41.34	52.53	360.87

※騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。

2．月末のポートフォリオの状況

① 資産別構成比（純資産比率(%)）

マザーファンド	99.95
短期金融資産等	0.05
合計	100.00

【市場別株式組入状況】

（マザーファンド）　（単位：%）

	銘柄数	比率
プライム市場	151	97.23
スタンダード市場	1	0.30
グロース市場	0	0.00
その他の市場	0	0.00
株式合計	152	97.53
短期金融資産等	－	2.47
株式先物取引	－	0.00

比率は純資産比率

② 組入上位10銘柄　（マザーファンド）

（単位：%）

	銘柄名	業種	比率
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.81
2	本田技研工業	輸送用機器	2.53
3	三菱商事	卸売業	2.47
4	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	1.98
5	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.86
6	東京エレクトロン	電気機器	1.67
7	JFEホールディングス	鉄鋼	1.66
8	村田製作所	電気機器	1.55
9	J. フロント　リテイリング	小売業	1.47
10	小松製作所	機械	1.46

比率は純資産比率

③ 組入上位10業種

（マザーファンド）　（単位：%）

	業種	比率
1	電気機器	15.74
2	輸送用機器	10.17
3	銀行業	9.82
4	化学	7.71
5	卸売業	6.03
6	小売業	5.80
7	機械	5.66
8	情報・通信業	4.39
9	サービス業	4.17
10	医薬品	4.00

比率は株式資産比率
東証33業種分類

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

日本株式バリューファンド ST

【特別勘定が投資する投資信託】
キャッシュフロー経営評価オープンVA1（適格機関投資家専用）
（愛称：選球眼 VA1）
【運用会社】
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

主要投資対象

日本の上場株式。主に「キャッシュフロー経営評価 マザーファンド」受益証券を通じて投資が行われます。

運 用 方 針

主に日本の上場株式に投資し、企業本来の投資価値に比べ現在の株価が割安と判断される銘柄を選定することによって、TOPIX（東証株価指数）（配当込み）を長期的に上回る運用成果の獲得を目指します。

3. ファンドマネージャーのコメント

【投資実績】
買付銘柄は、北米市場で建設機械の販売が好調な小松製作所などです。
売付銘柄は、業績に対する株価の割安感が薄れた三菱重工業、第一生命ホールディングス、T＆Dホールディングスなどです。

【市場の見通し】
欧米ではインフレ鈍化から政策金利の引き下げが視野に入っており、経済や株式市場の下支えが期待されます。国内景気は経済正常化などに支えられて緩やかな回復が続いています。今後は賃金上昇が個人消費の活性化につながるかが注目されます。
国内株式市場は堅調に推移し、一部で過熱感も見られますが、個別企業ごとに株価の割安さが見直される余地は十分にあると考えています。

【今後の運用方針】
ファンドの特色である「割安+業績モメンタム」の観点からポートフォリオ構築を行います。
潜在的な収益力に比べて株価が割安に放置されている銘柄や、業績が底打ち・拡大している銘柄をボトムアップで選別します。
当面は、業績の改善ペースが加速している銘柄群などに注目します。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

日本株式インデックスファンド ST

【特別勘定が投資する投資信託】
日本株式インデックス・オープンVA1（適格機関投資家専用）
【運用会社】
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

主要投資対象

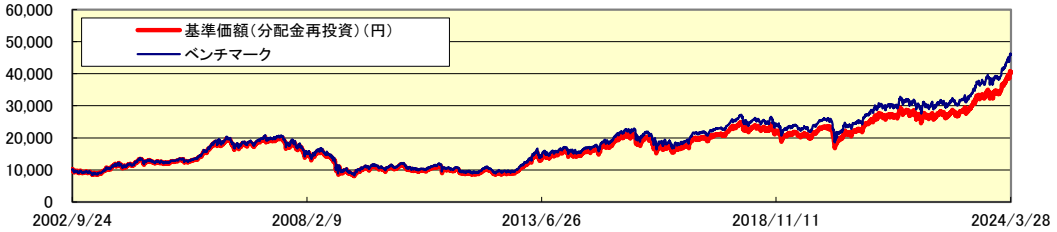
日本の上場株式。主に「国内株式インデックス マザーファンド」受益証券を通じて投資が行われます。

運 用 方 針

主に日本の上場株式に投資し、システム化された運用手法をとるなど、長期的な投資効率を向上させ、TOPIX（東証株価指数）（配当込み）に連動する投資成果の獲得を目指します。

2024年3月29日現在

① 基準価額推移グラフ（ベンチマークは当初設定日を10,000として指数化。データは設定日から基準日までを表示。）



※基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
※ベンチマークはTOPIX（東証株価指数）（配当込み）です。
※お客様本位でわかりやすい情報開示を行うために、2023年6月末基準より、株式を投資対象とするファンドの設定来からのベンチマークおよび参考指数を、ファンドの運用成果により近い「配当込み指数」に統一しました。

② 当月末基準価額

基準価額	40,394 円
既払分配金（税引前）	60 円
総資産総額	391 百万円

③ 資産構成比（対純資産、%）

マザーファンド	99.95
短期金融資産等	0.05
合 計	100.00

【マザーファンドの資産構成比（対純資産、%）】

株式	98.20
株式先物取引	1.73
短期金融資産等	0.06

銘柄数：2,071

④ 騰落率　（単位：%）

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
当ファンド	4.38	17.93	20.15	40.43	49.61	305.56
ベンチマーク	4.44	18.14	20.55	41.34	52.53	360.87
差	−0.06	−0.21	−0.40	−0.91	−2.92	−55.31

※騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
※運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

⑤ 業種別組入比率（マザーファンド）　（単位：%）

業種	ファンド	市場	差
水産・農林業	0.08	0.08	▲ 0.00
鉱業	0.33	0.33	0.00
建設業	2.09	2.08	0.00
食料品	3.08	3.08	0.00
繊維製品	0.36	0.36	0.00
パルプ・紙	0.17	0.17	0.00
化学	5.72	5.71	0.00
医薬品	4.26	4.26	0.00
石油・石炭製品	0.52	0.52	0.00
ゴム製品	0.69	0.69	0.00
ガラス・土石製品	0.69	0.69	0.00
鉄鋼	0.94	0.94	0.00

業種	ファンド	市場	差
非鉄金属	0.71	0.71	0.00
金属製品	0.52	0.52	0.00
機械	5.62	5.61	0.00
電気機器	17.40	17.39	0.01
輸送用機器	9.50	9.49	0.00
精密機器	2.21	2.21	0.00
その他製品	2.28	2.28	0.00
電気・ガス業	1.39	1.39	0.00
陸運業	2.49	2.49	0.00
海運業	0.70	0.70	0.00
空運業	0.41	0.41	0.00

業種	ファンド	市場	差
倉庫・運輸関連業	0.13	0.13	0.00
情報・通信業	7.25	7.25	0.00
卸売業	7.41	7.41	0.00
小売業	4.22	4.22	0.00
銀行業	7.40	7.40	0.00
証券、商品先物取引業	0.93	0.93	▲ 0.00
保険業	2.72	2.72	0.00
その他金融業	1.19	1.19	0.00
不動産業	2.14	2.14	0.00
サービス業	4.43	4.48	▲ 0.04
合計	100.00	100.00	―

ファンド：株式資産に占める割合（%）、市場：TOPIX（東証株価指数）（配当込み）構成比、業種：東証33業種分類

⑥ 組入上位15銘柄（マザーファンド、対株式資産比）　（単位：%）

	銘柄名	業種	比率
1	トヨタ自動車	輸送用機器	5.32
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.39
3	ソニーグループ	電気機器	2.35
4	東京エレクトロン	電気機器	2.14
5	三菱商事	卸売業	1.81
6	キーエンス	電気機器	1.78
7	日立製作所	電気機器	1.72
8	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.59
9	信越化学工業	化学	1.51
10	三井物産	卸売業	1.44
11	日本電信電話	情報・通信業	1.37
12	任天堂	その他製品	1.32
13	リクルートホールディングス	サービス業	1.30
14	伊藤忠商事	卸売業	1.17
15	東京海上ホールディングス	保険業	1.17

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
世界株式ファンド FIE

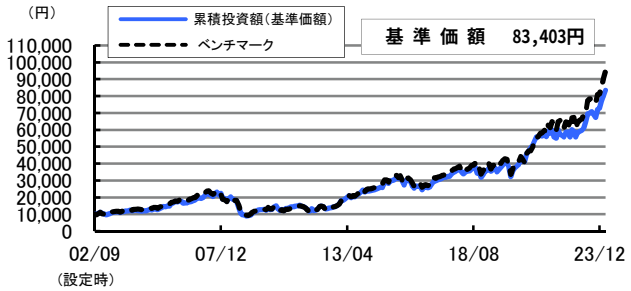
【特別勘定が投資する投資信託】
フィデリティ・グローバル・ファンドVA5（適格機関投資家専用）

【運用会社】
フィデリティ投信株式会社

主要投資対象
日本を含む世界の株式。主にフィデリティ・グローバル・マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運 用 方 針
市場平均等に比較し成長力があり、その持続が長期的に可能と判断される成長企業に投資し、世界株式市場の代表的指数であるMSCIワールド（円ベース）を中長期的に上回る投資成果の獲得を目指します。

設定来の運用実績　（2024年3月29日現在）



※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。ベンチマークはファンド設定日前日を10,000円として計算しています。※基準価額は運用管理費用控除後のものです。※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

累積リターン　（2024年3月29日現在）

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	3.17%	14.70%	20.74%	39.83%	56.25%	734.03%
ベンチマーク	4.43%	17.02%	23.30%	42.96%	77.99%	848.96%

※ 累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。
※ ベンチマーク：MSCIワールド・インデックス（税引前配当金込／円ベース）

過去5期分の収益分配金（1万口当たり／税込）

第 18期(2019.12.02)	----------	0円
第 19期(2020.11.30)	----------	0円
第 20期(2021.11.30)	----------	0円
第 21期(2022.11.30)	----------	0円
第 22期(2023.11.30)	----------	0円

コメント　（2024年3月29日現在）

世界株式相場は、MSCIワールド・インデックスの月間騰落率で+3.45%。
【米国株式】月間騰落率は、S&P500種指数が+3.10%、ダウ工業株30種平均は+2.08%、ナスダック指数は+1.79%。米国株式は上昇しました。米国の景気は引き続き底堅く、米国企業の収益が好調を維持したなか、米国株式は続伸しました。インフレは高い水準ながらも持続的に低下していることから、年内に利下げが開始されるとの観測も投資家心理を押し上げました。米国の就業者数は引き続き増加傾向である一方、平均時給の伸びは鈍化し、雇用環境の過熱感は徐々に和らいでいます。個人消費は市場予想を上回り、米国景気の底堅さが確認されました。先月までの米国株式の上昇は、ハイテク株にけん引されたものでしたが、当月はエネルギーや資本財、金融などへ市場の物色が広がりました。
【欧州株式】MSCIヨーロッパ・インデックスの月間騰落率は+4.55%。月上旬は、発表されたユーロ圏のインフレ率が市場予想を小幅に上回るも、伸びが鈍化したことや米株高を背景に投資家心理が改善し、上昇しました。欧州中央銀行（ECB）が政策金利を据え置き、インフレ見通しを引き下げたことも好感されました。月中旬は、英賃金上昇率の鈍化による利下げ期待の高まりやスペインの大手小売企業の好調な業績見通し等が好材料となりました。その後、英中央銀行や米連邦準備制度理事会（FRB）の政策金利発表を控え、上値が重い展開となりました。月下旬は、英中銀の政策金利据え置きおよびハト派的な見通しの発表、またスイス中銀の利下げなどを受け、欧州の主要な中央銀行への利下げ期待が投資家心理を支え、幅広い業種に買いが入り、続伸しました。
【アジア株式】MSCI AC ファー・イースト・インデックス（除く日本）の月間騰落率は+3.69%。中国は上昇しました。米中対立や中国の不動産信用問題が市場の重石となった一方で、中国の景気刺激策への期待や世界的なハイテク株高を背景に上昇しました。
【日本株式】TOPIX（配当込）は+4.44%。当月の東京株式市場は、日銀のマイナス金利政策が解除されてデフレ脱却期待が高まり、日経平均株価は史上最高値を更新しました。
前月からの上昇の勢いを受け継ぎ、日経平均株価は月初に史上初となる4万円の大台に到達しました。その後は米半導体株の下落や、日銀の政策変更を睨んで円高が進んだことなどがマイナス要因となって反落を強いられましたが、春闘で昨年よりも高い賃上げ率が確認されてデフレ脱却期待が高まると、市場で日銀の政策転換の織り込みが進み、株価は力強く上昇しました。日銀はマイナス金利や長短金利操作、上場投資信託買い入れなどの政策の終了を決定した上で、緩和的な金融環境を継続すると強調した一方、米連邦準備制度理事会は年内3回の利下げを行う方針を維持し、日米の金融政策決定会合が大方の事前想定通りに通過したことが株価を一段と押し上げました。日経平均株価は一時41,000円台に乗せるなど、終値で史上最高値を再び更新した後、月末にかけては利益確定売りや3月期決算企業の配当落ちの影響などからやや調整しましたが、そのまま4万円台を維持して月を終えました。
【為替】米ドル／円相場は、約1.12%の円安（1米ドル＝149.67円→151.35円）。
ユーロ／円相場は、約0.92%の円安（1ユーロ＝161.97円→163.45円）。
（※文中の騰落率は表記の無い限り現地月末、現地通貨ベース、為替はWMロイターを使用。）

※上記コメントは、資料作成時点におけるもので将来の市場環境等の変動等を保証するものではありません。また、為替相場等の影響により当ファンド、およびベンチマークの動向と異なる場合があります。

純資産総額	2.6 億円	（2024年3月29日現在）

組入上位10銘柄（ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ・ﾍﾞｰｽ）　（2024年2月29日現在）

	銘 柄	国・地域※	業 種	比率
1	バークシャー・ハサウェイ	アメリカ	金融ｻｰﾋﾞｽ	4.9%
2	マイクロソフト	アメリカ	ｿﾌﾄｳｪｱ・ｻｰﾋﾞｽ	4.5%
3	アーサー・J・ギャラガー	アメリカ	保険	4.0%
4	ビザ	アメリカ	金融ｻｰﾋﾞｽ	4.0%
5	アルファベット（クラスA）	アメリカ	ﾒﾃﾞｨｱ・娯楽	3.7%
6	アマゾン・ドット・コム	アメリカ	一般消費財・ｻｰﾋﾞｽ流通・小売り	3.6%
7	エーオン	ｱｲﾙﾗﾝﾄﾞ	保険	3.0%
8	カナディアン・ナショナル・レールウェイ	カナダ	運輸	2.9%
9	台湾積体電路製造（TSMC）	台湾	半導体・半導体製造装置	2.9%
10	メタ・プラットフォームズ	アメリカ	ﾒﾃﾞｨｱ・娯楽	2.8%

（ 組入銘柄数 ： 72 ）　上位10銘柄合計　36.4%

※発行国・地域を表示しています。　（対純資産総額比率）
※上記銘柄はご参考のため、英文表記の一部をカタカナで表記しております。
実際の発行体名と異なる場合があります。

ポートフォリオの状況（ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ・ﾍﾞｰｽ）　（2024年2月29日現在）

資産別組入状況

株式（実質）		99.5%
	うち現物	99.5%
	うち先物	－
投資信託・投資証券		－
現金・その他		0.5%

組入上位5業種

金融サービス	15.6%
ソフトウェア・サービス	11.3%
半導体・半導体製造装置	10.1%
保険	8.3%
メディア・娯楽	7.2%

組入上位5ヶ国・地域

アメリカ	59.4%
オランダ	5.9%
カナダ	4.9%
インド	4.5%
アイルランド	4.4%

※国・地域は発行国・地域を表示しています。
（対純資産総額比率）

＊各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。
＊業種はMSCI/S&P GICS※に準じて表示しています。
※MSCI/S&P GICSとは、ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ&ﾌﾟｱｰｽﾞがMSCI Inc.と共同で作成した世界産業分類基準（Global Industry Classification Standard =GICS）です。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

外国株式インデックスファンド ST

【特別勘定が投資する投資信託】
外国株式インデックス・オープンVA1（適格機関投資家専用）
【運用会社】
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

主要投資対象

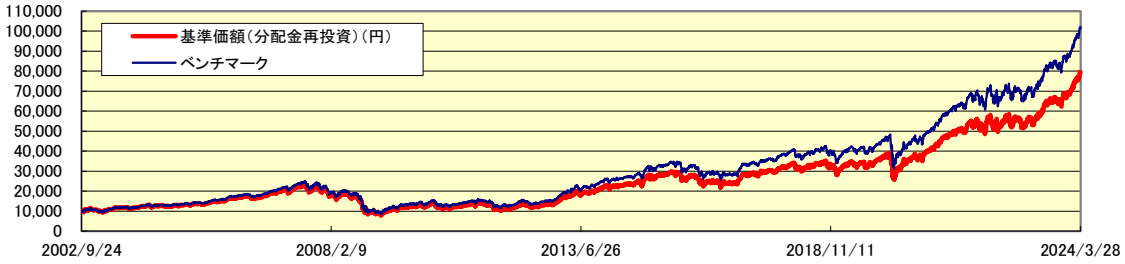
日本を除く世界の株式。主に「外国株式インデックス マザーファンド」受益証券を通じて投資が行われます。

運 用 方 針

主に先進各国の上場株式に投資し、システム化された運用手法で、世界株式市場の代表的指数であるMSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果の獲得を目指します。

2024年3月29日現在

① 基準価額推移グラフ(インデックスは当初設定日を10,000として指数化。データは設定日から基準日までを表示。)



※インデックスはMSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）
※基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
※お客様本位でわかりやすい情報開示を行うために、2023年6月末基準より、株式を投資対象とするファンドの設定来からのベンチマークおよび参考指数を、ファンドの運用成果により近い「配当込み指数」に統一しました。

② 当月末基準価額

基準価額	79,240　円
既払分配金（税引前）	60　円
総資産総額	127　百万円

※運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

③ 資産構成比（対純資産、%）

マザーファンド	99.95
短期金融資産等	0.05
合　計	100.00

【マザーファンドの資産構成比（対純資産、%）】

株式等	97.62
株式先物取引	2.33
短期金融資産等	0.05

純資産
729,793　百万円

銘柄数：1,248

※株式等の比率、銘柄数にはREIT等を含みます。

④ 騰落率　（単位：%）

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
当ファンド	4.10	15.63	22.40	42.56	74.61	694.59
ベンチマーク	4.24	15.87	23.10	44.19	80.28	917.87
差	−0.14	−0.24	−0.70	−1.63	−5.67	−223.29

※騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。

⑤ 通貨別組入比率（マザーファンド）(円換算ベース)　（単位：%）

	通貨	ファンド
1	米国ドル	75.76
2	ユーロ	9.37
3	英国ポンド	4.03
4	カナダ・ドル	3.26
5	スイス・フラン	2.60
6	オーストラリア・ドル	2.01
7	デンマーク・クローネ	1.01
8	スウェーデン・クローナ	0.85
9	香港ドル	0.47
10	シンガポール・ドル	0.32
11	ノルウェー・クローネ	0.16
12	イスラエル・シェケル	0.11
13	ニュージーランド・ドル	0.05
14	−	−

⑥ 組入上位10銘柄（マザーファンド、対株式資産比）(円換算ベース)　（単位：%）

	銘柄名	国名	比率
1	MICROSOFT CORP	米国	4.87
2	APPLE INC	米国	4.13
3	NVIDIA CORP	米国	3.66
4	AMAZON.COM	米国	2.75
5	META PLATFORMS INC-CLASS A	米国	1.77
6	ALPHABET INC-CL A	米国	1.47
7	ALPHABET INC-CL C	米国	1.29
8	ELI LILLY & CO	米国	1.03
9	BROADCOM INC	米国	0.97
10	JPMORGAN CHASE & CO	米国	0.95

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

外国債券インデックスファンド ST

【特別勘定が投資する投資信託】
外国債券インデックス・オープンVA1（適格機関投資家専用）
【運用会社】
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

主要投資対象

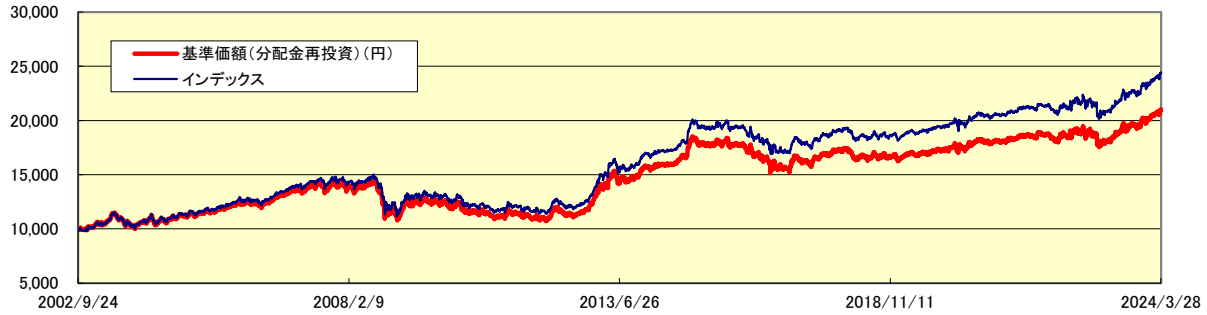
日本を除く世界の債券。主に「外国債券インデックス マザーファンド」受益証券を通じて投資が行われます。

運 用 方 針

主に先進各国の公社債に投資し、FTSE世界国債インデックス（除く日本 円ベース）に連動する投資成果の獲得を目指します。

2024年3月29日現在

① 基準価額推移グラフ(インデックスは当初設定日を10,000として指数化。データは設定日から基準日までを表示。)



※インデックスはFTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
※基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。

② 当月末基準価額

基準価額	20,876　円
既払分配金（税引前）	60　円
総資産総額	47　百万円

※運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

③ 資産構成比（対純資産、%）

マザーファンド	99.95
短期金融資産等	0.05
合　計	100.00

【マザーファンドの資産構成比（対純資産(円換算ベース)、%）】

債券	99.28
債券先物取引	0.54
短期金融資産等	0.18

純資産総額
333,268　百万円

銘柄数：885

④ 騰落率　（単位：%）

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
当ファンド	1.19	4.19	7.65	14.15	14.23	109.56
インデックス	1.20	5.04	8.29	15.80	17.31	143.63
差	−0.01	−0.84	−0.64	−1.65	−3.08	−34.08

※騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。

⑤ 通貨別組入比率（マザーファンド、対純資産比（円換算ベース））　（単位：%）

	通貨	比率
1	米国ドル	46.67
2	ユーロ	31.55
3	オフショア人民元	9.01
4	英国ポンド	5.13
5	カナダ・ドル	2.03
6	オーストラリア・ドル	1.35
7	メキシコ・ペソ	0.88
8	ポーランド・ズロチ	0.56
9	マレーシア・リンギット	0.49
10	シンガポール・ドル	0.41
11	イスラエル・シェケル	0.33
12	デンマーク・クローネ	0.27
13	ニュージーランド・ドル	0.25
14	スウェーデン・クローナ	0.19
15	ノルウェー・クローネ	0.16
	日本円（短期金融資産等）	0.72
	合　計	100.00

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
マネーファンド MB

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱UFJ　MRF（マネー・リザーブ・ファンド）

【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

主要投資対象

国内外の公社債、CP等の短期金融商品。

運　用　方　針

内外の公社債およびコマーシャル・ペーパーを中心に投資し、安定した収益の確保を目指します。投資対象とする有価証券は信用度が高く、残存期間が短いものとします。
外貨建資産への投資については、円貨で約定・決済するもの（為替リスクの生じないもの）に限ります。

2024年3月29日現在

■資産構成

	評価金額（円）	比率
公社債	0	0.0%
（うち固定債）	(0)	0.0%
（うち変動利付債）	(0)	0.0%
短期金融資産	423,432,000,000	62.2%
（うちコールローン）	(354,432,000,000)	52.1%
（うちCD）	(0)	0.0%
（うちCP）	(0)	0.0%
（うち現先・レポ）	(69,000,000,000)	10.1%
（うち割引手形）	(0)	0.0%
その他資産	257,000,847,555	37.8%
純資産総額	680,432,847,555	100.0%

・固定債：変動利付債以外の債券。

■基準価額および純資産総額

基準価額	10,000円
純資産総額	6,804.33億円

■ポートフォリオ特性

平均残存日数	15.7日

■国内（邦価建）公社債（新株予約権付社債（転換債）を除く）明細表

	額面金額（円）	評価金額（円）	残存期間別組入比率			
			1年未満	1年以上	2年以上	5年以上
国債	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地方債	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
特殊債	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
金融債	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
普通社債	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

■債券の格付分布

格付種類	比率
AAA格	0.0%
AA格	0.0%
A格	0.0%
BBB格	0.0%
BB格以下	0.0%
無格付	0.0%

■短期金融商品(CP・CD)の格付分布

格付種類	比率
A－1格	0.0%
A－2格	0.0%
A－3格	0.0%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・比率は経過利子等を債券時価に含まず算出しております。・平均残存日数は組入銘柄の純資産総額に対する比率で加重平均しています。・変動利付債の残存日数は、次回利払日までとして計算しています。・特殊債とは独立行政法人、公庫等の政府関係機関等、いわゆる特殊法人や特殊団体が特別の法律に基づいて発行する債券の総称です。・格付は、R&I、JCR、S&P、Moody'sのうち最も低い格付を表示しています。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。